※Ａ課題は半切横が可能になりました。ご活用ください。

締め切り
9月18日

現代書研究　選評：石飛　篝

先日、皇居三の丸尚蔵館の島谷弘幸館長とお話する機会があった。「書道が、ユネスコの無形文化遺産に登録される見込みであるが、登録されたからといって爆発的に書道人口が増加する書道ブームには至らないであろう。まずは、書作品を鑑賞する人口を増やすように努力してはどうか」と。そういえば、書展の観覧者は、ほとんどが関係者か知人、家族。うちの娘は自分の息子の作品は写真をとりにくるが、母の作品には興味を示さない。「読めない」「わからない」からと敬遠されている。

島谷先生は「書は読むという行為をいったん忘れて観ると、筆による線の美しさを感じることができる。書いた人の美意識をたどりながら鑑賞できる」と。水明展に多くの方々が足を運んでくださるようご協力を。

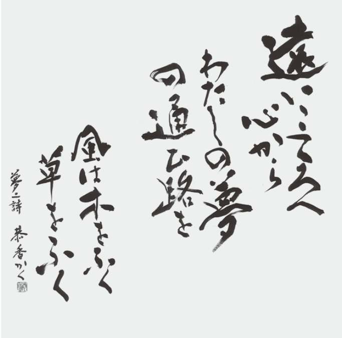
現代書部　次号課題

Ａ　月よみのひかりを待ちて帰りませ 山路は栗のいがのしげきに（良寛　歌）

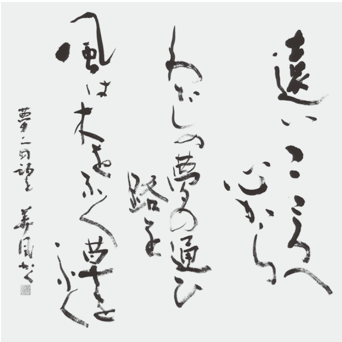
Ｂ　更けると涼しい月がビルの間から（種田山頭火　句）

優秀作品

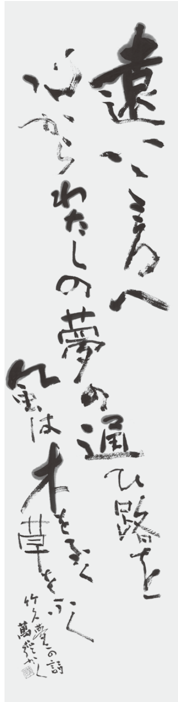
〈Ａ課題の部〉



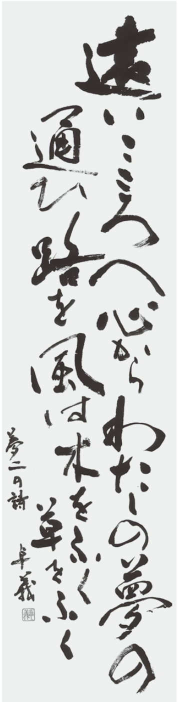
松下恭香　行が語りかけるように響きあっている。



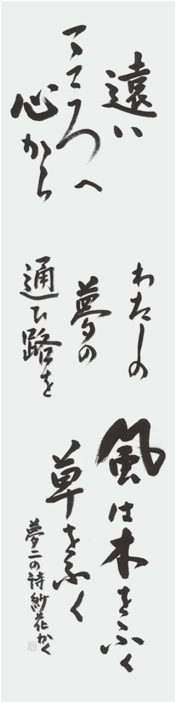
北野華風　次へ次へと筆を進めていく書き手の心情が読み取れる。



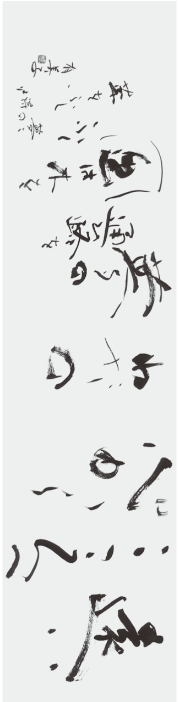
中村萬徑　大正ロマンを彷彿させる後半が秀逸。



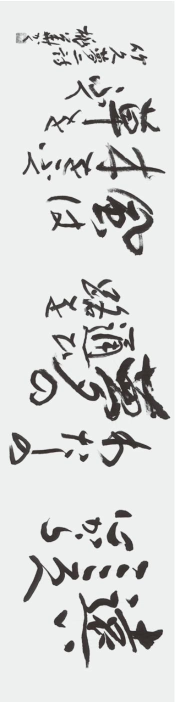
西川卓義　漢字とひらがなを上手く調和させて迫力あり。



垣口紗花　長文を三ブロックで構成。最後は少し字粒を小さく。



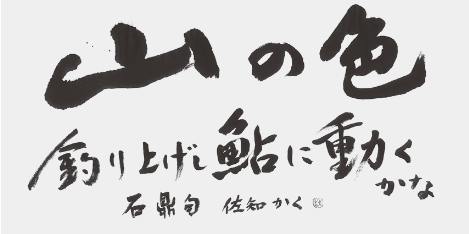
高田有美子　詩情あふれる作。



一井桃華　中央に「わたしの夢の通ひ路」をすえた意欲的な作。後半の処理一考。

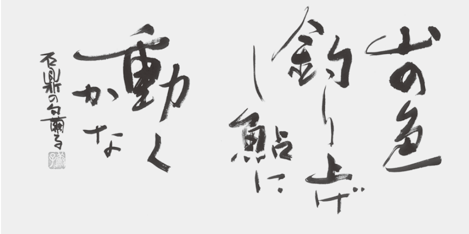
●出品資格：一般および高校生。●用紙サイズ：Ａ課題は**半切縦か横・角半**。Ｂ課題は**半切1/2、縦横自由**。
●Ａ・Ｂ課題は同時出品可能。同時出品の場合は出品券の下部にＡ・Ｂを明記すること。
●条幅出品券を作品の右下に必ず貼付すること。（作品の裏右下には鉛筆で氏名も忘れず記入）

〈Ｂ課題の部〉

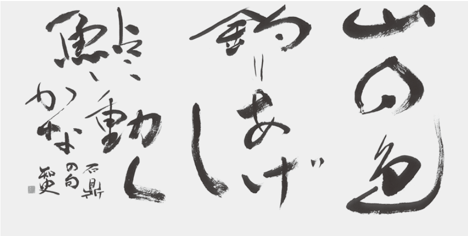


林　佐知子　大胆で大らかな動きが楽しい。

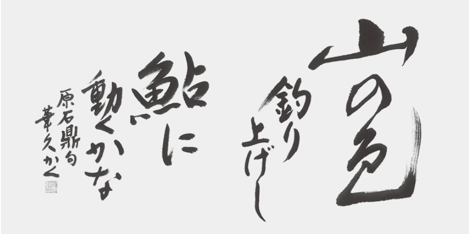
西尾珂峰　しなやかなリズムで書き進めた作。



塚本繭子　文字の大小、字間、行間等「間」の取り方が秀逸。

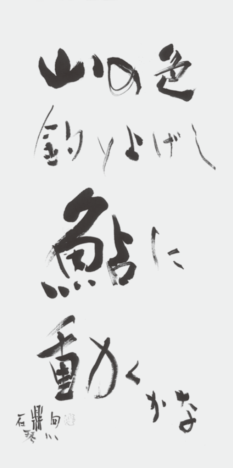


藤原知史　紙面を大きく使い明るくまとめた。

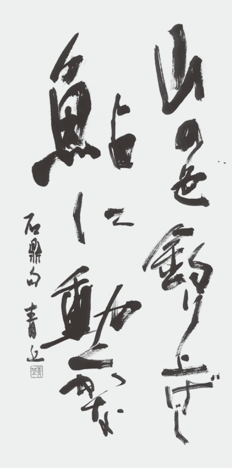


永島華久　落款まですっきりとまとめた。

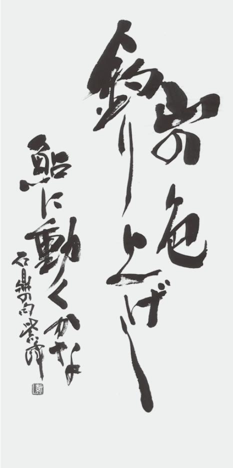
中村清寿　文字の懐が大きく雄大。



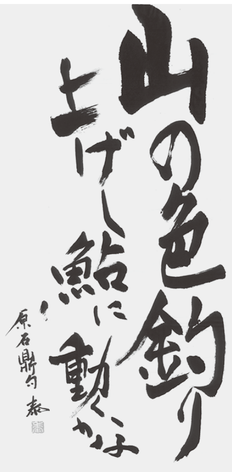
引場琴川　抒情的で絵画的な作。



嶋村青丘　文字の粗密、空間とも作品づくりを心得た作。



上田紫峰　筆の浮沈をいかした線でまとめた。



橋本　泰　豊富な墨量で書き上げた迫力の作。